

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、14人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（8月下旬掲載予定）

2市1町の合併

渡辺 大議員

問 合併してから現在まで財政面では、約305億円の交付金等の恩恵や、約115億円の人件費削減という効果があった。

答 今後、富士見市、三芳町との合併についての考えは。

問 社会情勢の変化に素早く対応できるように、今後様々な想定の下、行政運営を行う。

エコパ利用料の一部自己負担の導入

問 エコパの運営費用は、年間約1億9000万円。

答 利用者数は、年間約18万人だが、無料利用者率は、約92%に上る。現在の無料利用者か

ら利用料を1回1000円程度をいただいても良いと考えるが、市の考えは。

答 利用者も交えた中で、しっかりと検討していく必要がある。

離婚時の養育費、財産分与等の案内

問 ひとり親家庭の貧困率は、約50%。離婚時に書面による

養育費等の取り決めをしている人は、約25%。そこで、市役所での離婚届の配布時、受理時に財産分与や養育費の取り決めの必要性についてのパンフレット等を配布し、情報提供する必要があると考える。市の考えは。

答 子どもの福祉が尊重されるよう、気軽に相談できる窓口と必要な情報提供ができる専門的な相談体制の提供に努める。

地域資源を生かして地域の魅力づくりを

加藤恵一 議員

問 環境学習啓発モニメントとして田んぼ・稲わらアートを制作しては。

答 5月に開催した「田植え」体験講座に併せて10本のかかしを作り、モニメントの一つとして田んぼの周りに設置した。田んぼアートなどについてもPRポイントの一つと考えており実現するための体制や費用面などを調査・検証していきたい。

子育て世代の定住促進に向けて

市オリジナルのP

いきいきクラブの現状と今後

問 加入率の状況は。

答 平成27年4月は2167人、平成28年4月は2028人。現在60歳以上の人口での加入率は、約6%と減少傾向にある。

問 市民の利用頻度の平準化を図れないか。

答 利用の内訳割合はA社が74.8%、B社が15.8%、C社が9.4%となっている。今後は、ホームページやイベント等で、均等な利用促進に向けPR活動を進める。

基金を活用して介護保険料の引き下げを

新井光男 議員

問 平成30年度からの計画策定に向け基金の活用で保険料の引き下げができないか。

答 介護保険等準備基金は、次期計画で負担軽減に活用することができるとは、保険料の算定に当たっては、必要以上の基金残高を残すことなく活用し、保険料負担の軽減を図る見込み

高齢者への補助で住居の確保を

問 月6万円の国民年金受給者が安心して暮らせる住居確保に向け

答 平成28年度決算では9億数千円円の残高になる見込み。

問 文化芸術の核となる音楽ホールの建設を。

答 現在のホールは音響設備の老朽化など本格的な演奏の場として

問 調査対象施設の修費や維持管理費は。

答 施設の劣化改修、現状復帰及び設備の機能向上に48億1千万円。維持費を合わせると総額91億2千万円となる。

問 建て替えた場合の費用は。

答 建設費は、8000人から10000人規模の大きなホールやスタジオ、中小会議室等で約40億円。250人規模のホールや会議室、音

お出かけサポータータクシーの改善

床井紀範 議員

問 近隣市町の救急指定病院や産科病院への利用拡大の考えは。

答 ふじみ野駅と上福岡駅まで行けることから、考えていない。

問 近隣市ではデマンド交通で市外の病院などに行ける状況がある。地域住民の要望が多い

て、住宅補助ができないか。

答 解決に当たっては福祉制度の利用で対応する。

問 空き家の有効活用ができないか。

答 平成25年度の住宅土地統計調査によると、市内に賃貸住宅の空き家が5210戸あり、今後も増えることが予測されることから、これを公営住宅として活用できないか研究していく。

音楽でつながるまちづくりを

伊藤美枝子 議員

問 文化芸術の核となる音楽ホールの建設を。

答 現在のホールは音響設備の老朽化など本格的な演奏の場として

十分でない。市内在住の芸術家の意見を伺いながら施設のあり方を検討する。

問 昨年度ホールを有楽室、美術工芸室等で約24億円となる。

交通安全対策の推進を

問 駒西小学校周辺は、ふじみ野駅方面への道路と多くの道路が交差し、交通量も多く危険ゾーン30の計画は。

答 最高速度を時速30kmに規制し、グリーンベルトやポストコーンなど交通安全対策を行う。

と考えるが、市としての考えは。

答 病院を選定する場合、公平性の観点から、難しい現状があるので、考えていない。

杉並クローバー公園の再整備を

問 ブランコや滑り台などの遊具が撤去された。今後の再整備は。

答 公園施設長寿命化計画を策定する中で検討していきたい。



田植え体験時に作られたかかし



より良いホールのあり方を

地域の交通状況を勘案し、関係機関と連携し調査・検討する。

問 いつ、計画策定に着手するのか。

答 現在のところ、予定は決まっていない。

問 あずま屋、かまどベンチなどを設置し、防災拠点の充実を図るべきではないか。

答 関係機関と協議を重ね、地域住民の意見を取り入れ整備計画に反映させていきたい。